

令和4年度PRTRデータの概要（千葉市内分）について
—化学物質の排出量・移動量の集計結果—

平成11年7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（化学物質排出把握管理促進法又はPRTR法）に基づき、国あてに事業者から届出があった令和4年度分の千葉市内の化学物質の排出量・移動量について、本年2月27日に国が公表したデータを基に市独自に集計した結果がまとまりましたので公表します。

今回は、同法施行後22回目の集計結果の公表で、その概要は以下に示すとおりです。

なお、国のホームページでは、個別事業所から届出のあった排出量等のデータ及び届出対象外の排出量の推計値を閲覧できます。

※PRTRデータに関するホームページ：<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

I 令和4年度PRTRデータの集計結果

1. 集計結果の概要

(1) 届出事業所数（詳細はP.2）

千葉市（県内全体に占める割合）	千葉県	全国
154 事業所（12.9%）	1,196 事業所	32,209 事業所

(2) 届出排出量・移動量（詳細はP.3）

	千葉市（県内全体に占める割合）	千葉県	全国
届出排出量	574 トン（13.6%）	4,231 トン	122 千トン
届出移動量	1,315 トン（12.6%）	10,435 トン	247 千トン
届出排出量・移動量	1,889 トン（12.9%）	14,666 トン	369 千トン

※ダイオキシン類を除く。（これ以降の届出排出量及び移動量も同様）

※本集計結果における各割合や総排出量比等は、各事業所から届けられた排出量・移動量データの合計から算出したものであり、整数表示している集計値から算出した値とは異なる場合がある。（これ以降も同様）

(3) 千葉市内で届出排出量・移動量が多い物質（詳細はP.7及び8）

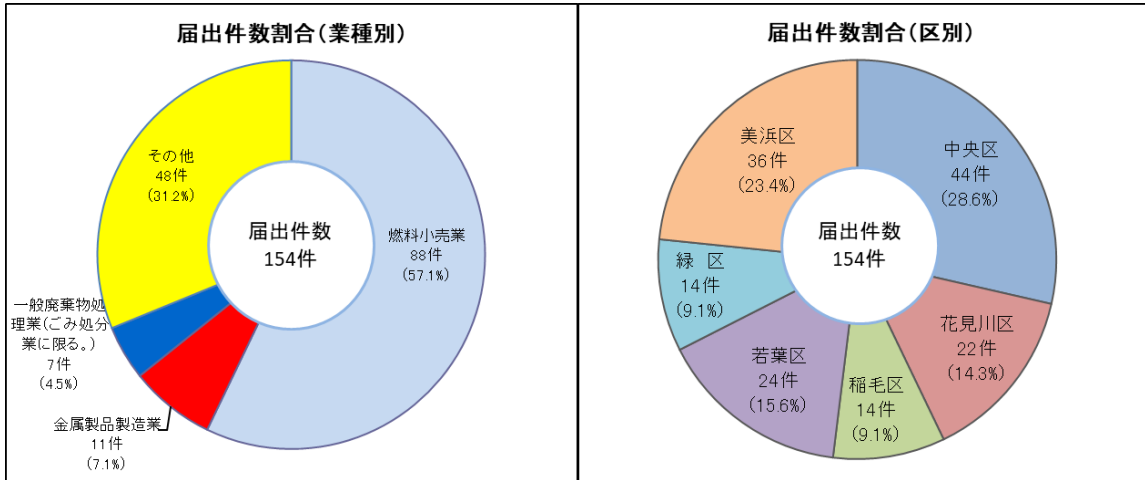
届出排出量 上位3物質（総排出量比）	① ノルマル-ヘキサン	194 トン（33.9%）
	② キシレン	89 トン（15.6%）
	③ エチルベンゼン	67 トン（11.7%）
届出移動量 上位3物質（総移動量比）	① 無水フタル酸	600 トン（45.6%）
	② クロム及び三価クロム化合物	191 トン（14.5%）
	③ N, N-ジメチルホルムアミド	97 トン（7.3%）

2. 行政区・業種別の届出状況

本市においては、26業種・154事業所から届出があり、燃料小売業からの届出数が全体の57.1%を占めています。また、行政区別では、中央区が最も多く28.6%を占め、次いで美浜区、若葉区となっています。

(単位:事業所数、%)

業種名	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計	割合
金属鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
原油・天然ガス鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
製造業	16	4	5	3	2	10	40	26.0
食料品製造業	0	0	0	1	0	4	5	
飲料・たばこ・飼料製造業	0	0	0	0	0	0	0	
酒類製造業	0	0	0	0	0	0	0	
たばこ製造業	0	0	0	0	0	0	0	
繊維工業	0	0	0	0	0	0	0	
衣服・その他の繊維製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
木材・木製品製造業	0	1	0	0	0	0	1	
家具・装備品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
出版・印刷・同関連産業	0	0	0	0	0	0	0	
化学工業	1	0	0	0	0	1	2	
塩製造業	0	0	0	0	0	0	0	
医薬品製造業	0	0	0	0	0	1	1	
農薬製造業	0	0	0	0	0	0	0	
石油製品・石炭製品製造業	2	0	0	0	0	0	2	
プラスチック製品製造業	1	0	0	0	0	1	2	
ゴム製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
なめし革・同製品・毛皮製造業	0	0	0	0	0	0	0	
窯業・土石製品製造業	1	0	0	1	0	0	2	
鉄鋼業	3	0	0	0	0	0	3	
非鉄金属製造業	1	0	2	0	0	0	3	
金属製品製造業	6	1	1	0	1	2	11	
一般機械器具製造業	0	1	2	0	1	0	4	
電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電子応用装置製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電気計測器製造業	0	0	0	0	0	0	0	
輸送用機械器具製造業	0	0	0	1	0	1	2	
鉄道車両・同部分品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
船舶製造・修理業、船用機関製造業	0	0	0	0	0	0	0	
精密機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	
医療用機械器具・医療用品製造業	0	1	0	0	0	0	1	
武器製造業	0	0	0	0	0	0	0	
その他の製造業	1	0	0	0	0	0	1	
電気業	1	0	0	0	0	0	1	0.6
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
下水道業	1	0	0	0	0	2	3	1.9
鉄道業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
倉庫業	0	0	0	0	0	4	4	2.6
石油卸売業	0	0	0	0	0	1	1	0.6
鉄スクラップ卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自動車卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
燃料小売業	23	14	8	16	12	15	88	57.1
洗濯業	0	0	0	1	0	1	2	1.3
写真業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自動車整備業	0	0	0	0	0	2	2	1.3
機械修理業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
商品検査業	0	1	0	0	0	0	1	0.6
計量証明業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る。)	1	1	0	4	0	1	7	4.5
産業廃棄物処分業	1	1	0	0	0	0	2	1.3
特別管理産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
医療業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等教育機関	1	0	1	0	0	0	2	1.3
自然科学研究所	0	1	0	0	0	0	1	0.6
合計	44	22	14	24	14	36	154	100.0



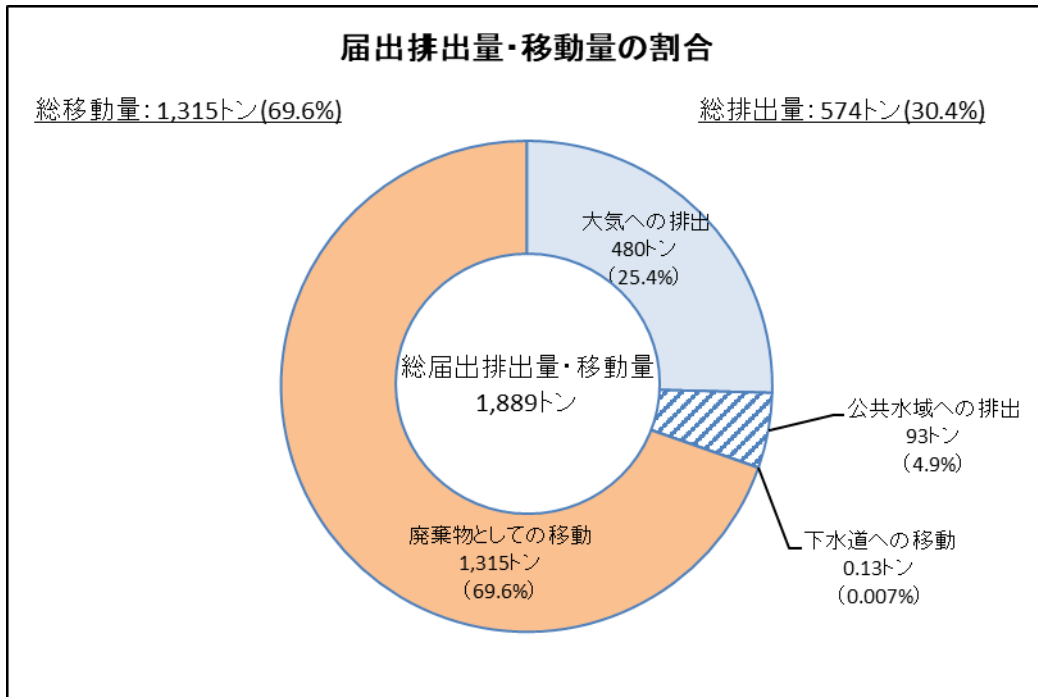
3. 届出排出量・移動量の集計結果

(1) 届出排出量・移動量の内訳

事業所から届出のあった総排出量及び総移動量の内訳は下図のとおりです。

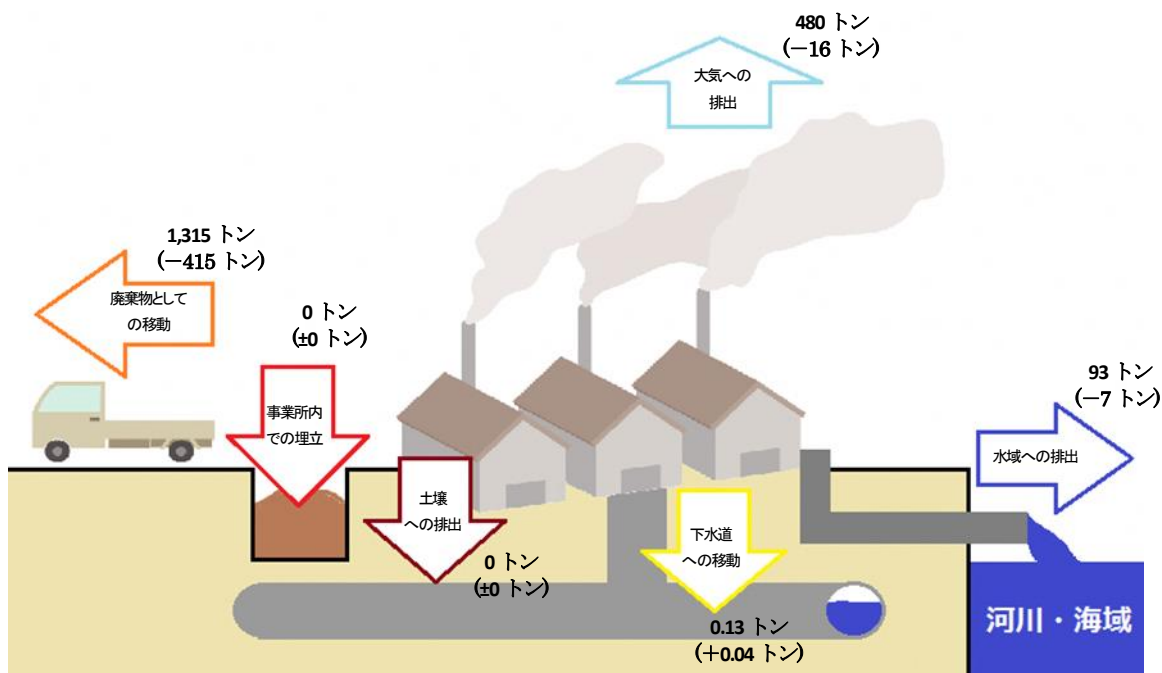
排出量では大気への排出が最も多く、全体の25.4%を占めており、移動量ではそのほとんどが廃棄物としての移動でした。

また、土壌への搬出及び事業所内における埋立処理の届出はありませんでした。



※ () 内は、総届出排出量・移動量に対する比率

排出量・移動量の区分



※ ()内は、前年度比

(2) 行政区別の排出量・移動量

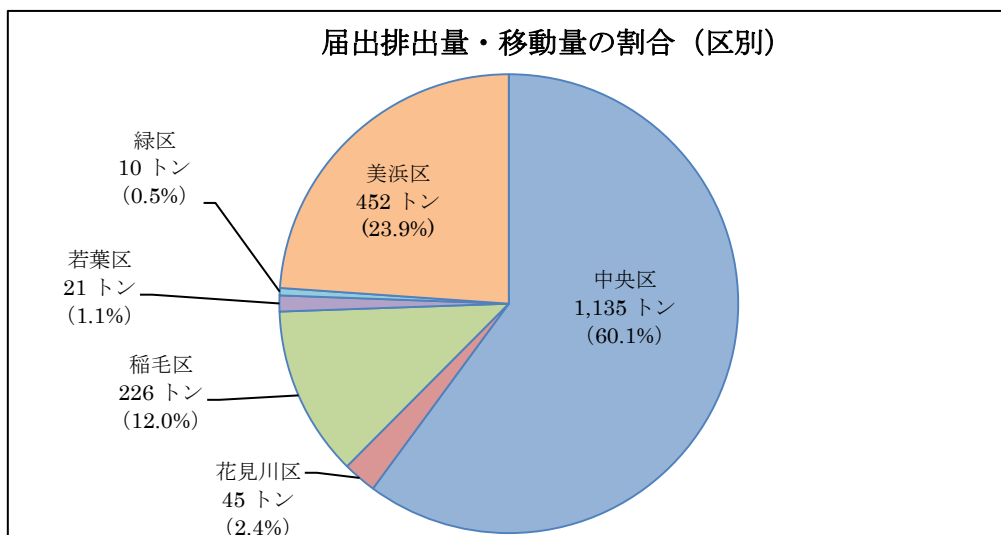
行政区別では、中央区が最も多く 69.1%を占め、次いで美浜区、稲毛区となっています。

区名	排出量(kg/年) ^{※1}					移動量(kg/年) ^{※2}			排出・移動量の合計 ^{※3}	割合(%)
	大気	水域	土壌	埋立	合計 ^{※3}	下水道	廃棄物	合計 ^{※3}		
中央区	121,242	67,936	0	0	189,178	0	945,796	945,796	1,134,974	60.1
花見川区	39,517	5	0	0	39,522	0	5,312	5,312	44,834	2.4
稲毛区	77,097	0	0	0	77,097	0	149,400	149,400	226,497	12.0
若葉区	19,312	237	0	0	19,549	0	1,720	1,720	21,269	1.1
緑区	8,581	0	0	0	8,581	0	1,212	1,212	9,784	0.5
美浜区	214,594	25,229	0	0	239,823	127	211,607	211,733	451,556	23.9
合計	480,343	93,407	0	0	573,750	127	1,315,047	1,315,174	1,888,924	100.0
割合(%)	25.4	4.9	0	0	30.4	0.007	69.6	69.6	100.0	

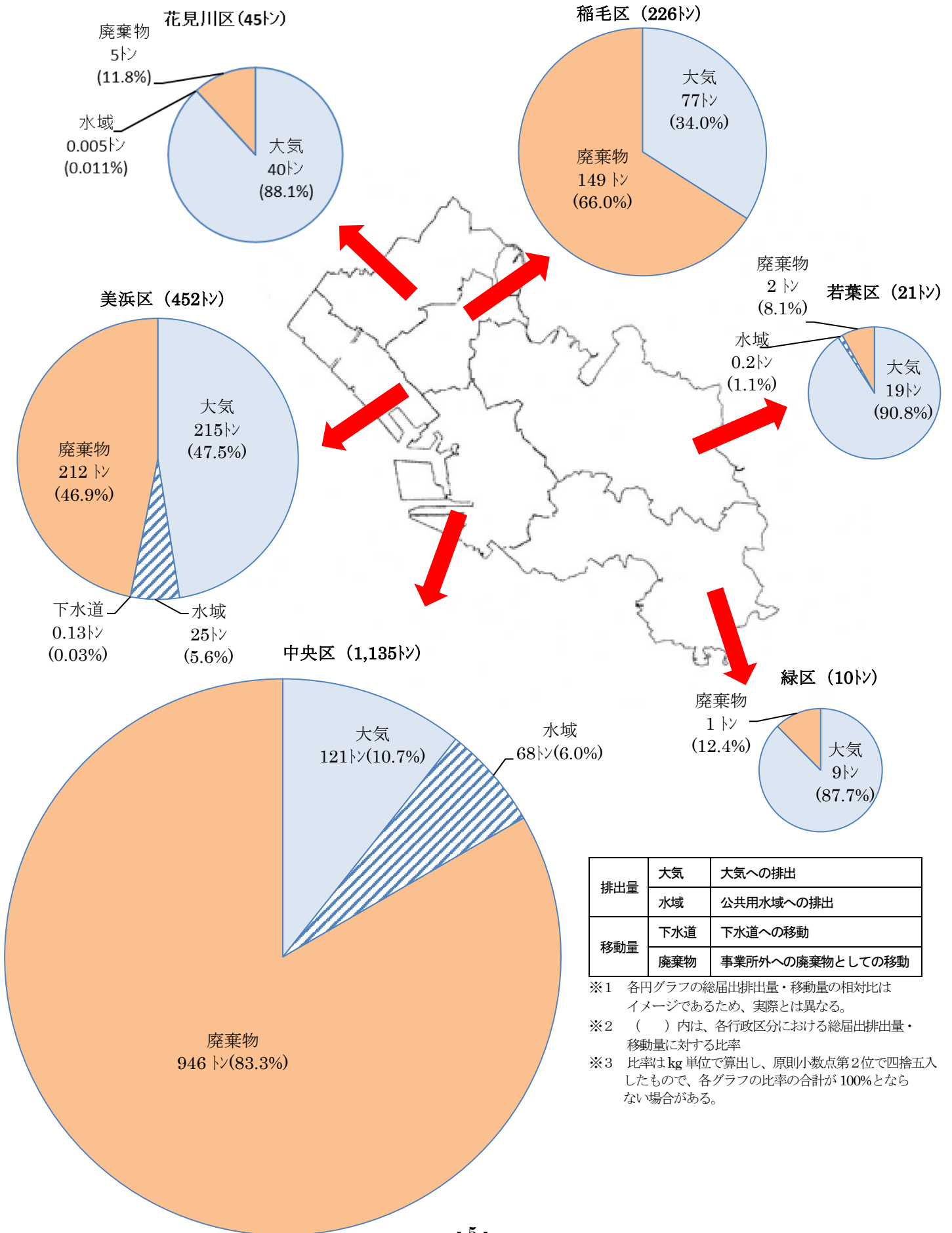
※1 大気：大気への排出 水域：公共用水域への排出 土壌：事業所内の土壌への排出 埋立：事業所内の埋立処分

※2 下水道：下水道への移動 廃棄物：事業所外への廃棄物としての移動

※3 排出量・移動量の合計は、各事業所からの届けられた該当データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。



各行政区別の届出排出量・移動量の割合

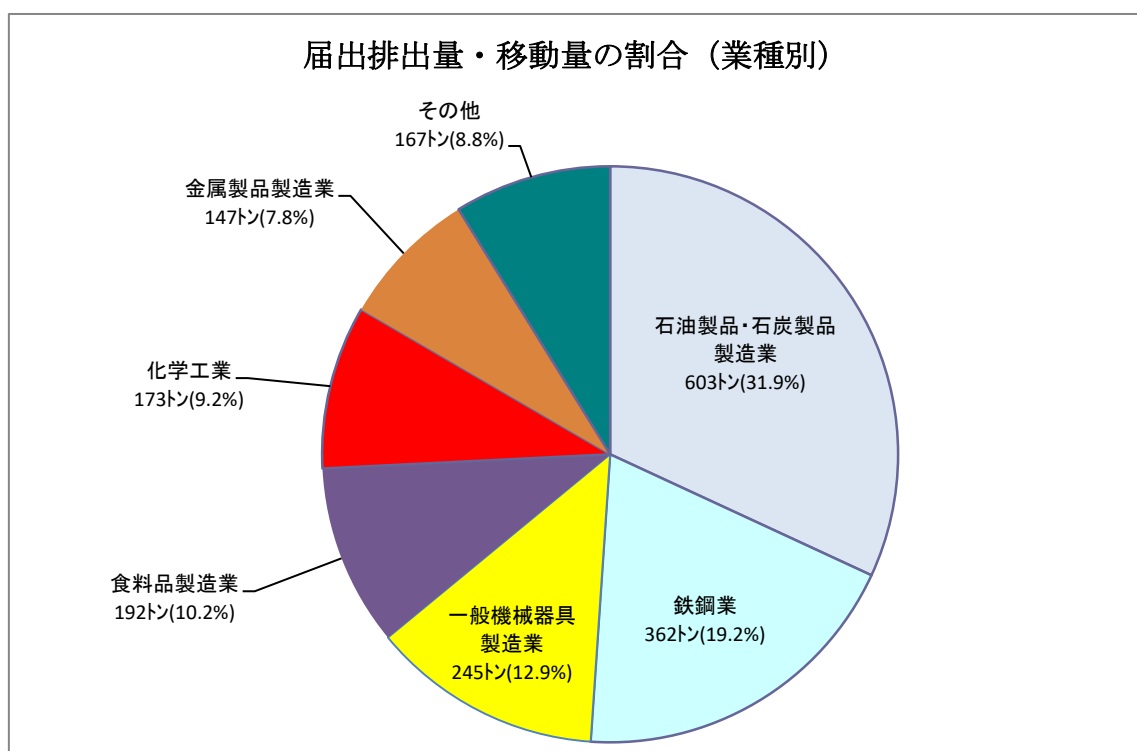


(3) 業種別排出量・移動量

業種別の届出排出量・移動量の集計した結果が以下のとおりであり、石油製品・石炭製品製造業が最も多く31.9%を占め、次いで鉄鋼業、一般機械器具製造業となっています。また、石油製品・石炭製品製造業の主な排出先・移動先は、事業所外への廃棄物としての移動でした。

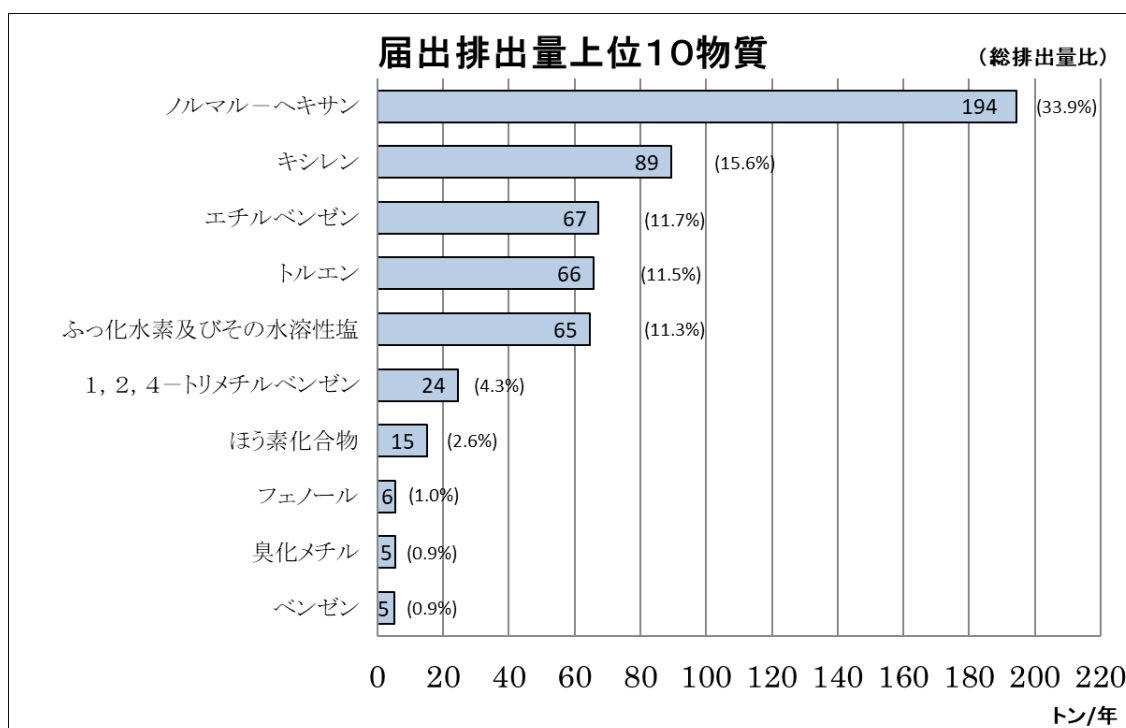
業種名	届出数	排出量(kg/年) ^{※1}					移動量(kg/年) ^{※2}			排出量・移動量の合計 ^{※3}	割合(%)
		大気	水域	土壌	埋立	合計 ^{※3}	下水道	廃棄物	合計 ^{※3}		
製造業	40	450,664	57,922	0	0	508,586	7	1,301,451	1,301,458	1,810,044	95.8
食料品製造業	5	191,509	0	0	0	191,509	0	951	951	192,460	10.2
木材・木製品製造業	1	7,470	0	0	0	7,470	0	662	662	8,132	0.4
化学工業	2	238	0	0	0	238	7	173,000	173,007	173,245	9.2
医薬品製造業	1	9,430	0	0	0	9,430	0	37,000	37,000	46,430	2.5
石油製品・石炭製品製造業	2	2,018	0	0	0	2,018	0	600,500	600,500	602,518	31.9
プラスチック製品製造業	2	0	84	0	0	84	0	0	0	84	0.0
窯業・土石製品製造業	2	131	0	0	0	131	0	219	219	350	0.0
鉄鋼業	3	28,476	57,833	0	0	86,309	0	275,995	275,995	362,304	19.2
非鉄金属製造業	3	4,800	0	0	0	4,800	0	9,170	9,170	13,970	0.7
金属製品製造業	11	92,609	5	0	0	92,614	0	54,640	54,640	147,254	7.8
一般機械器具製造業	4	95,430	0	0	0	95,430	0	149,150	149,150	244,580	12.9
輸送用機械器具製造業	2	13,653	0	0	0	13,653	0	0	0	13,653	0.7
医療用機械器具・医療用品製造業	1	4,900	0	0	0	4,900	0	0	0	4,900	0.3
その他の製造業	1	0	0	0	0	0	0	164	164	164	0.0
電気業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
下水道業	3	2	35,022	0	0	35,025	0	0	0	35,025	1.9
倉庫業	4	2,930	0	0	0	2,930	0	0	0	2,930	0.2
石油卸売業	1	554	0	0	0	554	0	70	70	624	0.0
燃料小売業	88	20,659	0	0	0	20,659	0	0	0	20,658	1.1
洗濯業	2	800	0	0	0	800	120	1,600	1,720	2,520	0.1
自動車整備業	2	4,110	0	0	0	4,110	0	26	26	4,136	0.2
商品検査業	1	1	0	0	0	1	0	1,400	1,400	1,401	0.1
一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る。)	7	3	463	0	0	466	0	0	0	466	0.0
産業廃棄物処分量	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等教育機関	2	621	0	0	0	621	0	10,500	10,500	11,121	0.6
自然科学研究所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
全業種合計	154	480,343	93,407	0	0	573,750	127	1,315,047	1,315,174	1,888,924	100.0
割合(%)		25.4	4.9	0.0	0.0	30.4	0.007	69.6	69.6	100.0	

※1～3については、3(2)行政区別の排出量・移動量と同じ



(4) 届出排出量の中で多い物質

届出排出量上位 10 物質の合計は 537 トンで、総届出排出量 574 トンの 93.6%にあたります。



※ 集計値は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

届出排出量上位 5 物質の主な業種と各物質の一般的な用途

順位	物質名	主な業種	届出排出量(kg)	主な用途
1	ノルマル-ヘキサン	食料品製造業	180,000	溶剤
		燃料小売業	12,732	
		医薬品製造業	480	
2	キシレン	一般機械器具製造業	41,500	合成原料、ガソリン・ 灯油成分、溶剤
		金属製品製造業	29,340	
		鉄鋼業	10,270	
3	エチルベンゼン	一般機械器具製造業	28,930	合成原料、溶剤
		金属製品製造業	22,630	
		鉄鋼業	11,450	
4	トルエン	一般機械器具製造業	19,000	合成原料、ガソリン 成分、溶剤等
		金属製品製造業	15,960	
		食料品製造業	9,000	
5	ふっ化水素及びその水溶性塩	鉄鋼業	47,000	合成原料、金属・ガラ スの表面処理剤等
		下水道業	17,300	
		一般廃棄物処理業 (ごみ処分業に限る。)	258	

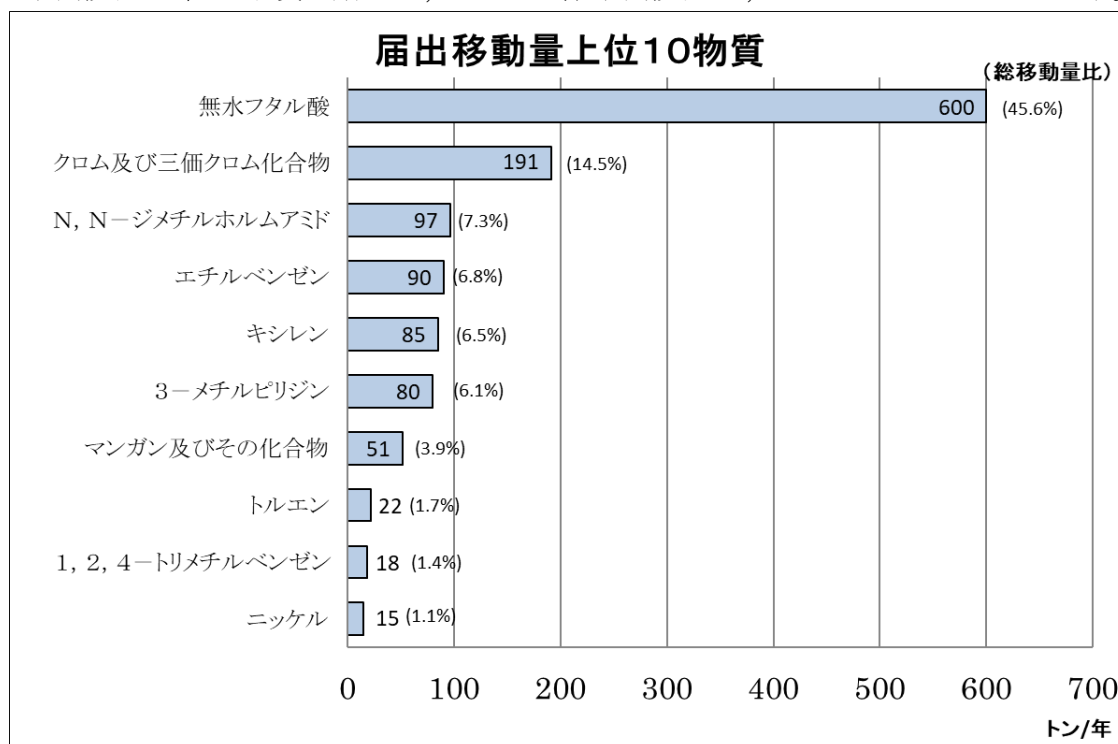
区別届出排出量上位5物質

(単位：kg)

区名	物質名	届出排出量	区名	物質名	届出排出量
中央区	①ふっ化水素及びその水溶性塩	49,210	若葉区	①トルエン	5,522
	②キシレン	37,318		②キシレン	5,345
	③エチルベンゼン	32,962		③エチルベンゼン	4,206
	④1, 2, 4-トリメチルベンゼン	18,355		④ノルマルーヘキサン	3,003
	⑤トルエン	14,880		⑤テトラクロロエチレン	800
花見川区	①トルエン	20,087	緑区	①トルエン	3,987
	②キシレン	8,233		②キシレン	1,989
	③フェノール	5,400		③ノルマルーヘキサン	1,824
	④ノルマルーヘキサン	2,478		④エチルベンゼン	589
	⑤エチレングリコールモノエチルエーテル	1,800		⑤ベンゼン	168
稲毛区	①キシレン	33,430	美浜区	①ノルマルーヘキサン	182,514
	②エチルベンゼン	27,972		②トルエン	15,238
	③トルエン	6,078		③ふっ化水素及びその水溶性塩	15,200
	④1, 2, 4-トリメチルベンゼン	6,008		④ほう素化合物	6,800
	⑤ノルマルードデシルアルコール	2,700		⑤臭化メチル	5,430

(5) 届出移動量の中で多い物質

届出移動量上位10物質の合計は1,248トンで、総届出移動量1,315トンの94.9%にあたります。



※ 集計値は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

届出移動量上位5物質の主な業種と各物質の一般的な用途

順位	物質名	主な業種	届出移動量(kg)	主な用途
1	無水フタル酸※ ¹	石油製品・石炭製品 製造業	600,000	合成樹脂原料、合成 原料、ゴム薬品
2	クロム及び三価クロム化合物※ ²	鉄鋼業	190,000	ステンレス鋼、メッ キ、顔料等
		金属製品製造業	910	
3	N, N-ジメチルホルムアミド※ ³	化学工業	93,004	溶剤、試薬、ガス吸収 剤
		医薬品製造業	3,600	
4	エチルベンゼン	一般機械器具製造業	76,150	合成原料、溶剤
		金属製品製造業	11,410	
		鉄鋼業	2,400	
5	キシレン	一般機械器具製造業	64,200	合成原料、ガソリン・ 灯油成分、溶剤
		金属製品製造業	9,692	
		鉄鋼業	7,600	

※¹ 無水フタル酸については、1業種のみから届出があった。

※² クロム及び三価クロム化合物については、2業種のみから届出があった。

※³ N, N-ジメチルホルムアミドについては、2業種のみから届出があった。

区別届出移動量上位5物質

(単位: kg)

区名	物質名	届出移動量
中央区	①無水フタル酸	600,000
	②クロム及び三価クロム化合物	190,910
	③マンガン及びその化合物	51,200
	④キシレン	20,710
	⑤1, 2, 4-トリメチルベンゼン	14,300
花見川区	①トルエン	3,300
	②キシレン	1,200
	③フェノール	450
	④エチレンジグリコールモノエチルエーテル	190
	⑤エチルベンゼン	150
稲毛区	①エチルベンゼン	76,000
	②キシレン	63,000
	③1, 2, 4-トリメチルベンゼン	3,500
	④トルエン	3,200
	⑤クロロホルム	1,600

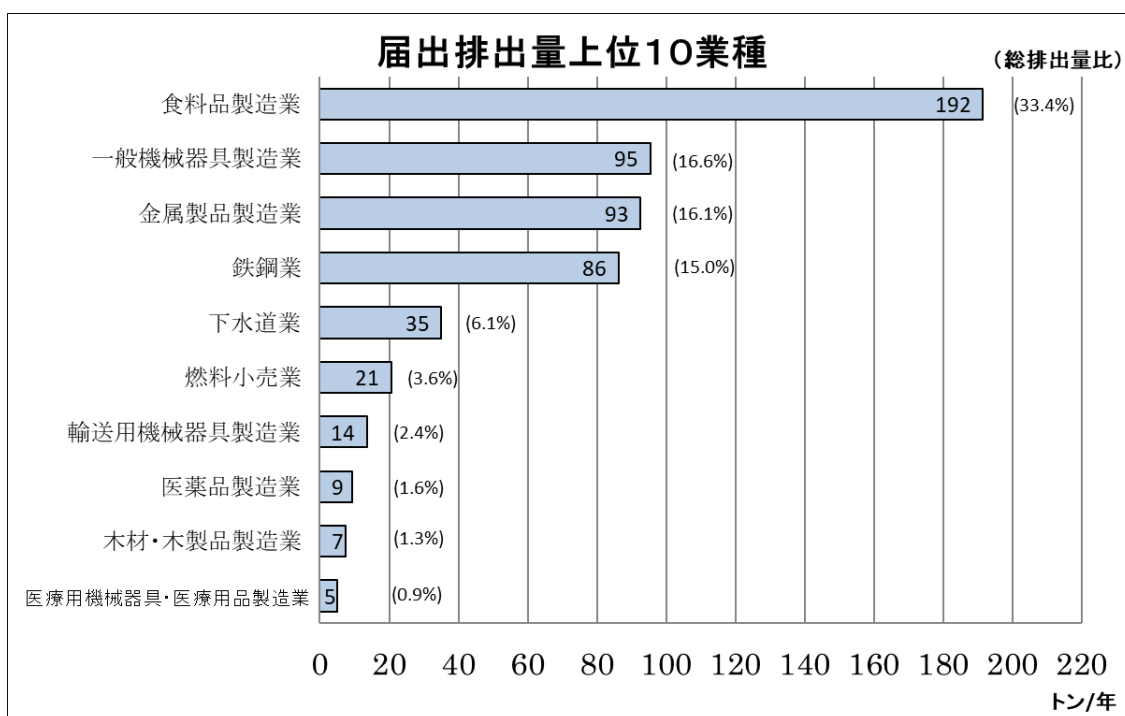
区名	物質名	届出移動量
若葉区 ※ ¹	①テトラクロロエチレン	1,600
	②フェノール	120
緑区 ※ ²	①トルエン	920
	②エチルベンゼン	210
	③キシレン	82
美浜区	①N, N-ジメチルホルムアミド	96,604
	②3-メチルピリジン	80,003
	③1, 4-ジオキサソ	10,000
	④クロロホルム	8,600
	⑤トルエン	7,548

※¹ 若葉区の移動量については、2物質のみの届出があった。

※² 緑区の移動量については、3物質のみの届出があった。

(6) 届出排出量の中で多い業種

届出排出量上位 10 業種の合計は 557 トンで、総届出排出量 574 トンの 97.1%にあたります。



※ 集計値は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

区別届出排出量上位5業種

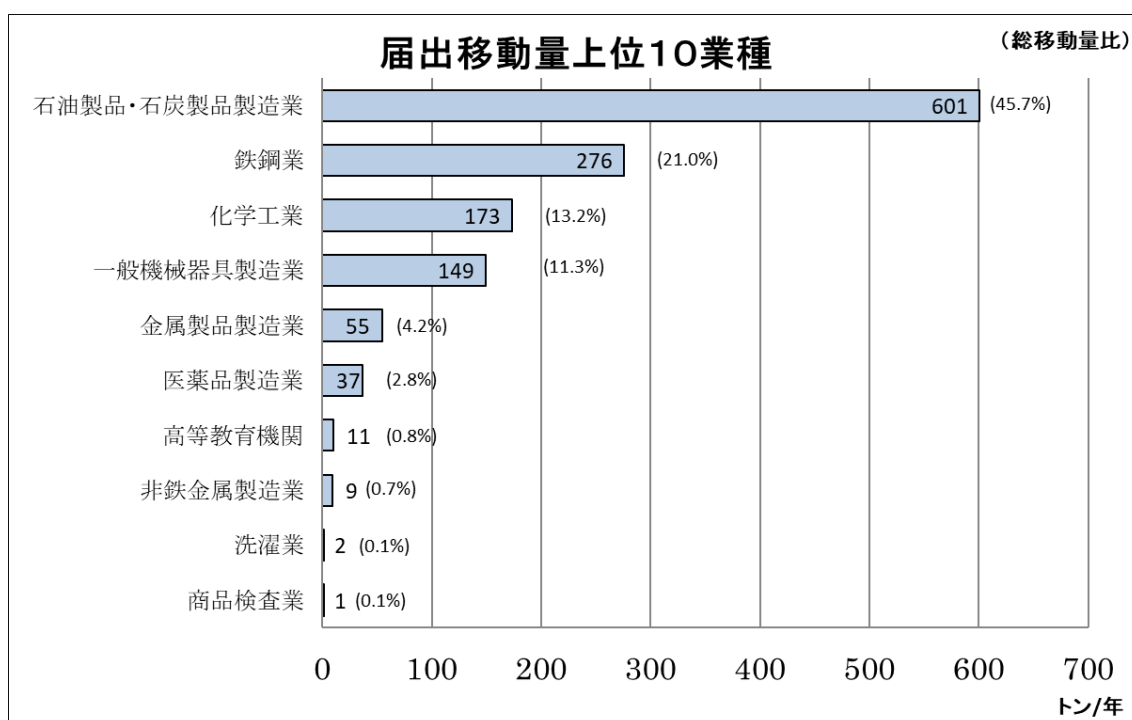
(単位: kg)

区名	物質名	届出排出量	区名	物質名	届出排出量
中央区	①鉄鋼業	86,309	若葉区	①輸送用機械器具製造業	13,600
	②金属製品製造業	85,209		②燃料小売業	4,793
	③下水道業	9,794		③洗濯業	800
	④燃料小売業	5,125		④一般廃棄物処理業 (ごみ処分量に限る。)	237
	⑤石油製品・石炭製品製造業	2,018		⑤窯業・土石製品製造業	110
花見川区	①一般機械器具製造業	23,060	緑区	①金属製品製造業	4,380
	②木材・木製品製造業	7,470		②燃料小売業	2,901
	③医療用機械器具・医療用品製造業	4,900		③一般機械器具製造業	1,300
	④燃料小売業	4,084		※1	
	⑤金属製品製造業	5			
稲毛区	①一般機械器具製造業	71,070	美浜区	①食料品製造業	191,500
	②非鉄金属製造業	4,800		②下水道業	25,231
	③燃料小売業	982		③医薬品製造業	9,430
	④高等教育機関	229		④自動車整備業	4,110
	⑤金属製品製造業	16		⑤金属製品製造業	3,004

※1 緑区の排出量については、3業種のみから届出があった。

(7) 届出移動量の中で多い業種

届出移動量上位 10 業種の合計は 1,313 トンで、総届出移動量 1,315 トンの 99.8%にあたります。



※ 集計値は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第 1 位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

区別届出移動量上位 5 業種

(単位 : kg)

区名	業種名	届出移動量	区名	業種名	届出移動量
中央区	①石油製品・石炭製品製造業	600,500	若葉区 ※2	①洗濯業	1,600
	②鉄鋼業	275,995		②窯業・土石製品製造業	120
	③金属製品製造業	52,938			
	④非鉄金属製造業	8,500			
	⑤高等教育機関	7,600			
花見川区 ※1	①一般機械器具製造業	3,250	緑区 ※2	①金属製品製造業	1,012
	②商品検査業	1,400		②一般機械器具製造業	200
	③木材・木製品製造業	662			
稲毛区	①一般機械器具製造業	145,700	美浜区	①化学工業	173,007
	②高等教育機関	2,900		②医薬品製造業	37,000
	③非鉄金属製造業	670		③食料品製造業	951
	④金属製品製造業	130		④金属製品製造業	560
				⑤洗濯業	120

※1 花見川区及び稲毛区の移動量については、4 業種のみから届出があった。

※2 若葉区及び緑区の移動量については、2 業種のみから届出があった。

II 令和4年度データと前年度までのデータの比較

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に基づき事業者から届出のあった排出量及び移動量の集計結果は、次のとおりです。

1. 届出事業所数

令和4年度に届出のあった事業所数は154事業所で、前年度から1事業所減少しました。

2. 届出排出量・移動量

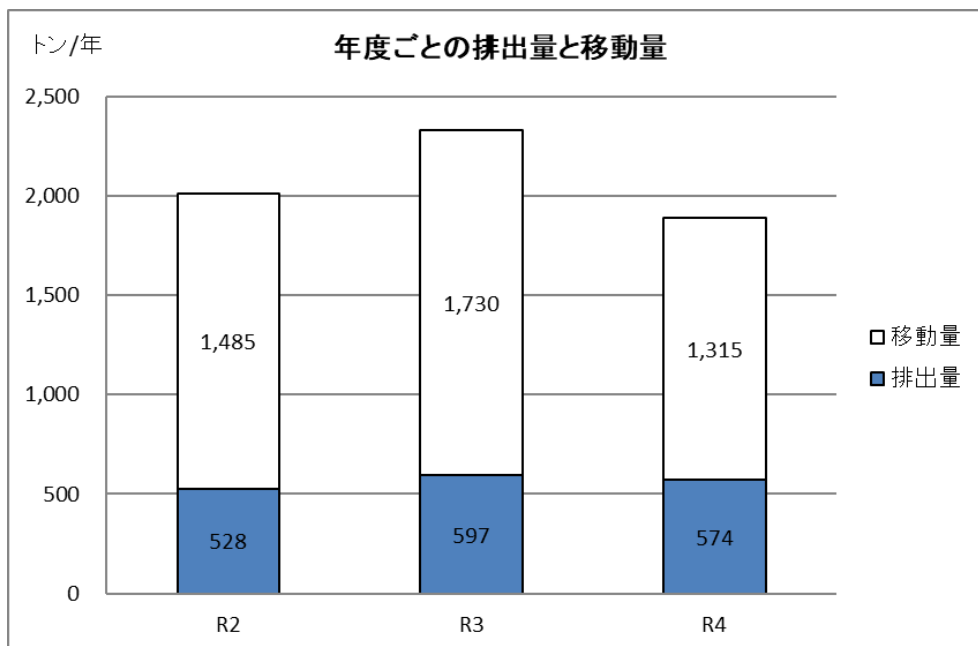
令和4年度分の届出排出量・移動量の合計は1,889トンで、前年度より438トン減少しました。排出量については574トンで前年度より23トン減少、移動量については1,315トンで前年度より415トン減少しました。

届出排出量・移動量の経年変化

単位：kg/年

排出先		R2年度	R3年度	R4年度	前年度比増減
排出量	大気	422,895	496,478	480,343	-16,135
	公共用水域	105,192	100,543	93,407	-7,136
	土壌	0	0	0	±0
	埋立処分	0	0	0	±0
	合計	528,086	597,021	573,750	-23,271
移動量	下水道	59	84	127	+43
	廃棄物	1,484,454	1,730,172	1,315,047	-415,125
	合計	1,484,513	1,730,256	1,315,174	-415,082
排出量・移動量の合計		2,012,599	2,327,277	1,888,924	-438,353
届出事業所数		155	155	154	-1

※ 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合がある。



(1) 業種別の届出排出量・移動量

令和2年度から令和4年度の届出排出量・移動量の業種別経年変化は次のとおりです。

届出排出量・移動量の業種別経年変化

業種名	排出量・移動量の合計(kg/年)		
	R2	R3	R4
製造業	1,941,056	2,247,061	1,810,044
食料品製造業	150,757	166,840	192,460
木材・木製品製造業	8,609	11,743	8,132
家具・装備品製造業	0	-	-
化学工業	76,306	144,194	173,245
医薬品製造業	58,980	65,310	46,430
石油製品・石炭製品製造業	408,308	662,092	602,518
プラスチック製品製造業	85	88	84
窯業・土石製品製造業	337	370	350
鉄鋼業	818,703	734,591	362,304
非鉄金属製造業	37,208	38,943	13,970
金属製品製造業	155,134	164,394	147,254
一般機械器具製造業	210,680	236,150	244,580
輸送用機械器具製造業	10,949	16,546	13,653
医療用機械器具・医療用品製造業	5,000	5,800	4,900
その他の製造業	-	-	164
電気業	0	3,100	0
下水道業	33,338	31,927	35,025
倉庫業	1,510	2,589	2,930
石油卸売業	220	1,129	624
燃料小売業	18,890	23,935	20,658
洗濯業	4,546	3,398	2,520
自動車整備業	5,153	4,635	4,136
商品検査業	1,601	1,501	1,401
一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る。)	559	539	466
産業廃棄物処分業	0	0	0
高等教育機関	5,595	7,452	11,121
自然科学研究所	131	13	0
全業種合計	2,012,599	2,327,277	1,888,924

※ 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合がある。

※ 表中「-」は対象年度中に届出なしを示す。

(2) 届出排出量・移動量の上位3物質

令和4年度分における届出排出量・移動量の上位3物質の経年変化は次のとおりです。

排出量では上位3物質のノルマル-ヘキサン、エチルベンゼンの2物質が前年度より増加し、キシレンの1物質が前年度より減少しました。移動量では、N, N-ジメチルホルムアミドの1物質が前年度より増加し、無水フタル酸、クロム及び三価クロム化合物の2物質が前年度より減少しました。

届出排出量上位3物質の経年変化

順位	物質番号	物質名	届出排出量(kg/年)		
			R2	R3	R4
1	392	ノルマル-ヘキサン	152,518	176,136	194,392
2	80	キシレン	83,521	102,467	89,264
3	53	エチルベンゼン	54,277	66,099	67,261
市全体の総届出排出量			528,086	597,021	573,750

届出移動量上位3物質の経年変化

順位	物質番号	物質名	届出移動量(kg/年)		
			R2	R3	R4
1	413	無水フタル酸	400,000	660,000	600,000
2	87	クロム及び三価クロム化合物	640,860	530,440	190,910
3	232	N, N-ジメチルホルムアミド	43,702	88,303	96,604
市全体の総届出移動量			1,484,513	1,730,256	1,315,174

